

# 第一鋼業株式会社

## 2018 年度 環境経営レポート

(対象期間：2017 年12月21日～ 2018 年12月20日)



発行日： 平成31年3月15日

## 目 次

項 目	ページ
あいさつ	1
環境経営方針	1
組織の概要	2
事業・製品の紹介	2
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
主な環境負荷の実績	4
環境経営目標及びその実績	4
環境経営計画の取組結果とその評価	5
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	10

## □ごあいさつ

環境を考えることは企業の義務です。有害物質を出さない事、リサイクルの輪を断ち切るような製品を出さない事、省資源の考え方などを基本に製品作りをすることが我々に課せられた使命と考えます。この考え方を基本にして製品作りをすすめるとともに次世代の環境にやさしい処理を探求し、もの造りに専念いたします。

第一鋼業株式会社  
代表取締役社長 妻藤 誠

## 環境経営方針

### <環境経営理念>

第一鋼業株式会社は金属剪断刃物・機械部品の製造及び金属熱処理加工を行う工場としての事業活動を通じて、地球温暖化の緩和に向けた取り組みや様々な環境活動に全員参加で自主的・積極的に取り組むと同時に、環境経営の継続的改善を行います。

### <環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制とその削減につとめます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 洗浄剤などの化学薬品の適正管理に努めます。
6. 環境に配慮した生産活動を進めます。
7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日：2017年7月16日

代表取締役社長 妻藤 誠

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名  
 第一鋼業株式会社  
 代表取締役社長 妻藤 誠
- (2) 所在地  
 本 社 大阪市西成区南津守6-3-22  
 本社工場 同上  
 九州工場 福岡県北九州市若松区南二島2丁目25番1号  
 東京営業所 東京都大田区東六郷3丁目9番9号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
 責任者 代表取締役社長 妻藤 誠 TEL：06-6651-8368  
 担当者 総務次長 宇野 眞博 TEL：06-6651-8368
- (4) 事業内容  
 金属剪断刃物や機械部品の製造 金属熱処理加工

(5) 事業の規模

売上高 112,468 万円 (2018年度)

	本社	九州工場	東京営業所	合計
従業員	65 名	8 名	3 名	76 名
延べ床面積	4,705 m <sup>2</sup>	500 m <sup>2</sup>	88 m <sup>2</sup>	5,293 m <sup>2</sup>

(6) 事業年度 前年12月21日～12月20日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 第一鋼業株式会社  
 対象事業所： 本社・本社工場

九州工場 2019年に拡大受審予定  
 東京営業所 2020年に拡大受審予定

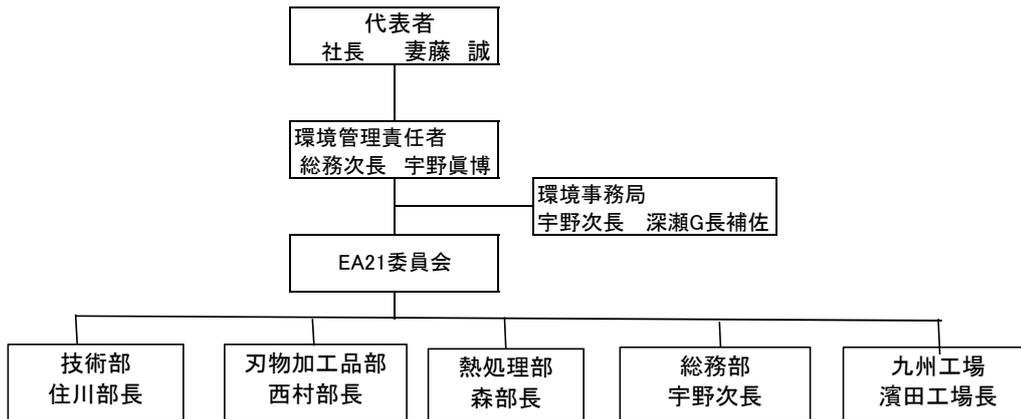
活動： 金属剪断刃物や機械部品の製造 金属熱処理加工

□事業や製品(商品)の紹介



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2018年8月24日



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境経営方針の策定・見直し</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、EA21委員会の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営計画の審議</li> <li>環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2016年	2017年	2018年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>		2,999,427	3,202,490
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg		1350	4,968
産業廃棄物排出量	kg		54,550	80,417
総排水量	m <sup>3</sup>		6,382	6,201

※二酸化炭素排出係数 0.496 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 関西電力の調整後の係数

※産業廃棄物排出量には、有価物56379kgを含んでいます。

□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年)	2018年		評価	2019年	2020年
			上段: 通期	下段: (実績)		(目標)	(目標)
			(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	1,670,906	1,637,488	1,704,473	×	1,620,779	1,604,070
	基準年度比	2017年	98%	102%		97%	96%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	1,281,879	1,256,241	1,452,084	×	1,243,423	1,230,604
	基準年度比	2017年	98%	113%		97%	96%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	39,783	38,987	40,249	×	38,589	38,192
	基準年度比	2017年	98%	101%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	2,992,568	2,932,717	3,196,806		2,902,791	2,872,866
一般廃棄物の削減(コピ一用)	kg	969	940	739	○	940	930
	基準年度比	2017年	97%	76%		97%	96%
産業廃棄物の削減	kg	54,559	53,468	80,417	×	52,922	52,376
	基準年度比	2017年	0.98	147%		0.97	0.96
水道水の削減	m <sup>3</sup>	6,382	6,254	6,201	○	6,191	6,127
	基準年度比	2017年	98%	97%		97%	96%
洗浄剤使用量削減	kg	140	137	60	○	136	134
	基準年度比	2016年	98%	43%		97%	96%
環境に配慮した生産活動	行動目標(次項による)						

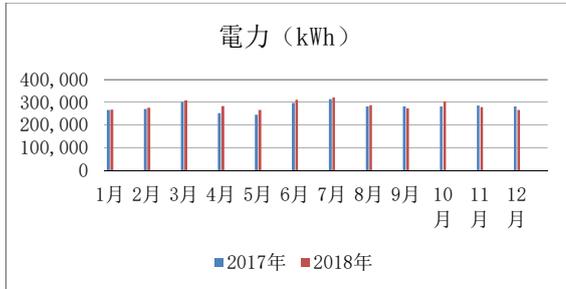
※上記二酸化炭素排出量には、灯油を含んでいません。

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	前年度から原単位管理に取り組んでみたがうまく相関関係が解析できなかったため使用量を基本とした評価で前年より量は増えたが売上原単位比率では後半少し効率を上げている次年度は原単位要因を明確にしてさらに段取りや効率等、身近な作業のムリムラムダがないか見直す必要がある。
・不要照明の消灯	○	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃前後)	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	



取組紹介欄

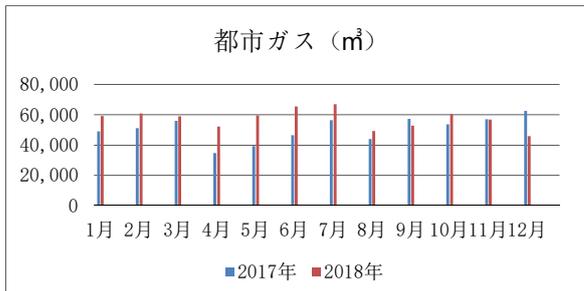


次年度の取組内容

エネルギー使用量については加工高の変動による影響が大きいのでそれを考慮した使用量削減を検討する。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	265,579	270,455	300,008	251,496	244,705	296,681	313,515	280,563	280,879	280,879	285,811	280,330
2018年	266,310	275,630	308,422	282,418	265,576	310,602	319,836	287,010	273,256	303,221	278,046	266,110

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	熱処理ガス炉に関しては原単位する仕組みはあるがここでは使用量なので全体的には量が上がっているが後半12月こそガス炉の利用が少なかったことにより単月の達成はされた月もある。売上は前年より少し上がったことに対しては外注利用のエネルギーがここでは表れてこないこともあると思う。次年度は省エネ法対応の管理標準の作成をしていき、また炉への充填率、操業率の分析を検討す
・熱処理炉の原単位管理	○	



取組紹介欄



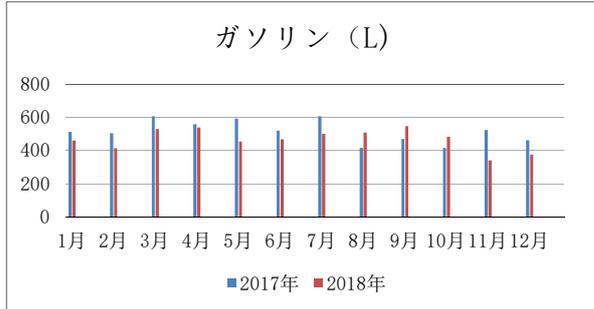
GHP 温度設定厳守

次年度の取組内容

エネルギー使用量については加工高の変動による影響が大きいのでそれを考慮した使用量削減を検討する。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	49,138	51,174	55,962	34,809	39,397	46,445	56,410	43,983	57,311	53,692	57,087	62,570
2018年	59,258	60,933	58,953	52,287	59,637	65,501	66,872	49,264	52,864	60,342	56,826	45,967

<b>自動車燃料による二酸化炭素削減</b>	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	エコドライブが安全運転であり省資源という考えを浸透させたい。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	△	
・環境に配慮されたリース車を満了時新規導入	○	



取組紹介欄

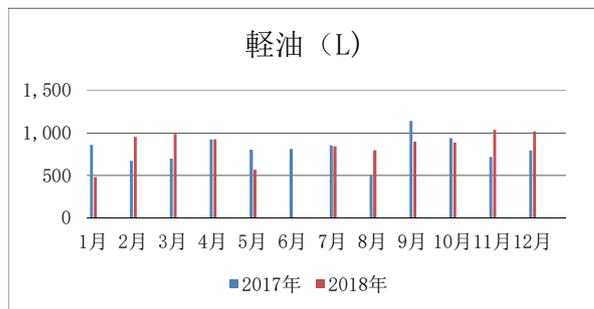


アイドリングストップ運動

次年度の取組内容

月次の使用量をグラフ化して削減意識を高める。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	511	503	605	558	593	518	607	415	469	416	524	462
2018年	459	413	528	539	454	467	500	507	546	483	340	375



取組紹介欄



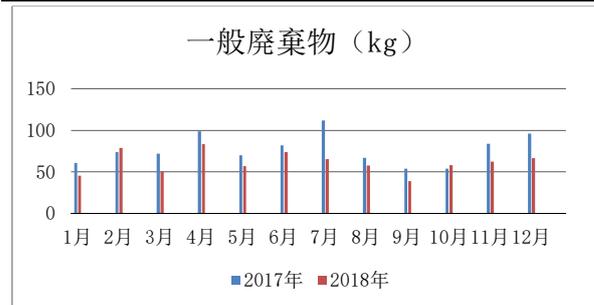
アイドリングストップ運動

次年度の取組内容

月次の使用量をグラフ化して削減意識を高める。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	858	670	696	922	802	810	852	493	1,141	938	718	791
2018年	478	954	986	924	568	0	839	796	898	886	1,036	1,018

<b>一般廃棄物の削減(コピー用紙)</b>	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	計量計測をしていなかった廃棄量の把握をしていく仕組みはできた。今回は紙使用量を優先事項として取上げた。コピー使用実態調査に基づき会議資料等のプロジェクター化などはさらに進める必要。
・書類の簡素化	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・一般ごみの量を把握 ぎゅうぎゅう作戦実施	△	
・環境新聞による両面印刷、集約コピーのすす	△	



取組紹介欄



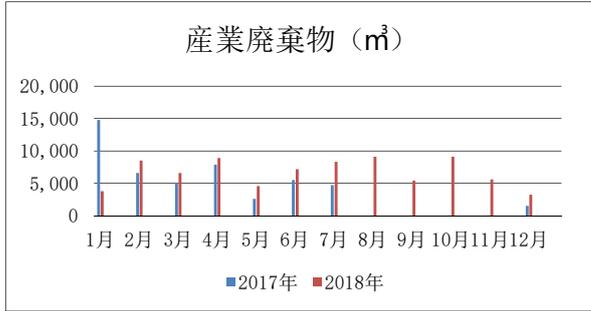
一般廃棄物看板本社

次年度の取組内容

前年は廃棄量が把握できていない状況であったが、「ごみ袋ギューギュー作戦」の実施により一般廃棄物の量を把握できるようになった。次年度はそのデータをもとに分析対策する。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	61	74	72	99	70	82	112	67	54	54	84	96
2018年	45	79	50	83	57	74	66	58	39	58	62	67

産業廃棄物の削減		達成状況	取組結果とその評価
数値目標		×	設備更新によって産廃量は大きく変動するのは致し方ない。10月に研磨機のレトロフィットにともない機械の搬出時オイル類の抜き取り、周辺設備からスクラップを売却した分排出量が増加した油類の再利用または長寿命化を研究していく。作動油グリス潤滑油冷却油と分類をして量を把握する。できるだけ発生場所での計測を行なう。
・材料の歩留まり向上(材料会議)		○	
・加工ミスによるロスの低減確認(ISO会議)		○	
・高濃度PCBコンデンサ廃棄処分		○	
・微量PCBトランス廃棄処分		○	



取組紹介欄



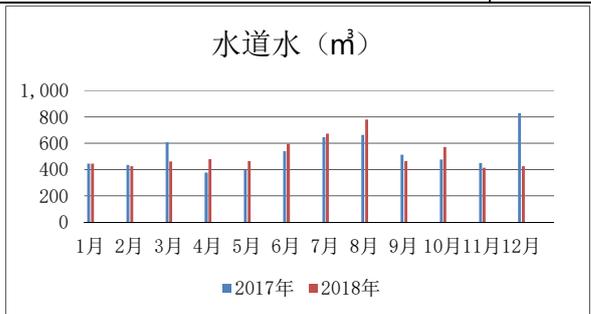
PCB機器処分

次年度の取組内容

産業廃棄物の処理にかかるコストを低減するため分別方法を検討していく。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	14,782	6,584	5,133	7,865	2,614	5,506	4,732	15	2	2	3	1,502
2018年	3,802	8,526	6,609	8,922	4,593	7,202	8,298	9,116	5,403	9,133	5,593	3,222

水道水の削減		達成状況	取組結果とその評価
数値目標		○	前年1月度に比べ、使用量が300m³程多くなっている原因は、新設炉の貯水タンクの新設による。また冷却水漏れがあったことに加え、熱処理炉の能力アップが水使用量の増加につながっている。循環水はほぼインバータされたが水焼入れ炉の水使用実態は今後の検討課題。その他の月は、全体的に現状維持。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示		○	
・定期的な漏水点検		○	



取組紹介欄



次年度の取組内容

機器不良の漏水で使用量が増えているので、設備点検方法を検討して実施する。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	446	435	607	376	400	541	646	665	512	476	449	829
2018年	446	426	462	479	464	595	674	780	465	572	413	425

洗浄剤使用量削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	PRTR物質を含まない代替品を探していたが特定顧客の受注がなくなったので
・有害性物質の周知と表示	○	・トリクロロエチレンTA1000は今後購入しないことに
・SDSによる教育、SDSの保管	○	・ラスファイターについては利便が悪く今後購入しないことに

取組紹介欄

MSDS管理  
ファイル



次年度の取組内容

次年度のPRTR物質を含むものは新しく管理の必要になった脱硫剤(少量)のみになる

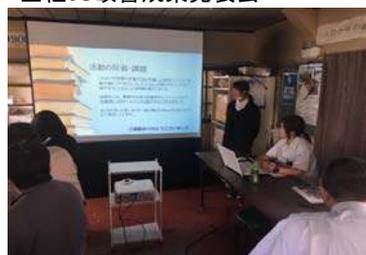
環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価
・全社5S活動の推進	○	改善実施活動では前年38件の実施提案だったが50件と増加
・クリーン作戦の継続実施	○	
・改善実施活動	50件	
・環境新聞の発行・掲示(不定期)	○	

取組紹介欄

・5Sクリーン作戦の様子



・全社5S改善成果発表会



次年度の取組内容

改善実施活動は提出1件/1人当りで継続して全員参加をめざす

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無**

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、木くず、消耗品屑等）
騒音規制法	空調機・空圧機
振動規制法	走行クレーン
大気汚染防止法	排出基準の遵守、排出濃度の測定・記録の保管
省エネ法	第2種特定工場の届出、管理者の選任
温暖化対策推進法	対策計画、実績報告
フロン排出抑制法	簡易点検の実施、定期点検の実施、点検記録の保存
PRTR法	指定化学物質の取扱量把握、SDSの受け取り
労働安全衛生法	SDS義務640物質の把握
No x・PM法	適合する自動車の使用
消防法（危険物）	危険物の管理
PCB処理法	対象品の届出保管
毒物及び劇物取締法	盗難/漏えい防止

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、省エネ法に関連した管理基準の作成に対応します。

なお、その他については違反、訴訟等も過去3年間ありません。

**□緊急事態対応訓練**

<b>緊急事態の想定： 火災消火と津波を想定した避難訓練</b>	
■実施日： 平成30年7月3日	■実施場所： 会社内
■参加者： 本社従業員全員	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 毎年、消防署員の立ち合い指導の下に実施。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 本社	
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2019年3月15日

<p>【前回の指示への取組結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保管PCB廃棄物の処理に関しては高濃度、微量ともに計画通り完了</li> <li>・消炎装置については2018年は費用面などもあり取り組めなかったが2019年固定資産経営計画として実施予定</li> <li>・二酸化炭素の削減目標については年初のEA21委員会で目標数値を再検討している。</li> </ul>	
<p>◇自社を取り巻く環境問題の変化 (社会的情勢、利害関係者の要求等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高濃度PCB廃棄物の処理期限が、2021年3月31日と迫ってきている。古い蛍光灯安定器の調査～処分が今後の課題</li> </ul>	<p>◇環境方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部年年度経営計画に環境関連項目を付記し策定内容を着実に実施してください。方針の見直しはなし</li> </ul>
<p>◇環境目標・活動計画の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電力による二酸化炭素2%削減や、都市ガスによる二酸化炭素2%削減等の目標は、ほとんど未達であった。</li> </ul>	<p>◇環境経営目標・環境経営計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二酸化炭素の削減目標は、生産量の増減や設備の更新等により、達成状況が左右されるか、2019年度は、省エネ法への届け出にもとずく管理標準、点検方法見直しと省エネ改善実施で二酸化炭素削減目標は、基準年比2%削減を目標とします。</li> </ul>
<p>◇その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利害関係者からの苦情・要請等 過去に油煙に対して、近隣から火災と間違えて消防署に連絡されたことがある。</li> <li>・環境上の問題点等</li> </ul>	<p>◇その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度中に、油煙を減少させる装置の設置計画を策定します。・炉の断熱工事、建屋の断熱工事など計画しています。</li> </ul>
<p>【今回の評価結果と今後の経営視点】</p> <p>今回は、課題であったPCB機器処分を実施、その他は十分とはいえない活動でしたが、今回の結果をレビューして、2019年度計画で改善していきます。</p>	

□これまでの環境活動の紹介



- 5S活動の推進
- ・全員参加の活動
  - ・率先垂範
  - ・継続活動

午後の始業時にクリーン作戦実行継続  
毎日5分間・水曜日は10分間  
全員が自分の持ち場以外をきれいにする。  
冷却水ポンプのインバータ化推進



品質検査の様子

環境教育訓練の様子



PCB機器の処分



事務所エアコン内部洗浄による効率化



□編集後記

# 消防技術大会の様子

2016年10月31日

石成自衛消防協議会 消防技術大会  
平成28年10月30日(木)



# EA21審査の様子

